

日本の未来を創る大学の

挑戦

ポスト 2020

学生と社会の繋ぎ目となる大学は、社会的課題の出現や社会環境の変化によってこれまでも様々な影響を受けてきました。

第4次産業革命と呼ばれるこれからの社会で、必要とされる人材とは一。

技術革新による産業構造の変化は、教育界に新たな課題を生み出しました。未来を切り開いてゆく人材育成の為に、大学の使命は大きく、その役割は一層重要度を増しています。今の教育界は大きな変革の時を迎えようとしています。2020年の教育改革を目前に、日本の未来を創る大学はどのような「未来」を描こうとしているのでしょうか。



産経新聞社



N-DRICOM

日本ドリコム

ポスト 2020

日本の未来を創る大学の挑戦

国際化や情報化の進展を背景に、社会構造が変化している。予測困難な時代を生きる次世代は、より多様で柔軟な力を身につける必要があるとされる。文部科学省では、高校教育と大学教育、大学入学者選抜の一体的な改革「高大接続改革」に取り組み、未

来を生き抜く学力3要素〈思考力・判断力・表現力〉の養成を目指している。2021年1月には、大学入学共通テストが始動する。学びの変化について、文部科学省の錦泰司大学入試室長と河合塾の河合英樹副理事長に聞いた。（聞き手 宮田奈津子）

予測困難な未来 生きる力を育成

大学入学共通テストが始動へ

「高大接続改革の背景は「大きく変化する社会で、自立的に活動し、新たな価値を創造していくためには、高校段階から学力の3要素として、①知識・技能の確実な習得②思考力・判断力・表現力③主体性を持つて多様な人々と協働して学ぶ態度」を育てていく必要があります。そして、その力を大学入学者選抜で評価し、大学で向上・発展させる流れを作ることが高大接続改革の狙いです」

「高校と大学をつなぐ大学入学者選抜として、大学入学共通テストが2021年1月からスタートする」

「現在の大学入試センター試験はマークシート方式で実施されていますが、より多面的・総合的に学力を測る試験に転換していく必要があります。大学入学共通テストでは、国語と数学で3問ずつ記述を導入します。大学入学共通テストでは、英語で民間検定試験を活用予定だったが、24年度以降に延期された」

「公平性や公正性、地域格差や経済格差などを背景に、高校や受験生を含む各方面から意見をいただき、延期を判断しました。今後、大学入試における英語4技能評価のあり方について検討していきます」

「英語4技能〈読む・聞く・話す・書く〉の重要性は変わらぬ」

より多面的・総合的に学力測る



2021年1月から大学入学共通テストが始まる（写真は2019年1月の大学入試センター試験）

錦泰司氏（文部科学省高等教育局 大学振興課大学入試室長）

「高校教育は変化する中で、いまはセンター試験で対応できていたが、〈話す・書く〉については、現在の日程では評価が難しいのが現状です。学習指導要領では、4技能をバランスよく育成することが盛り込まれており、大学入試で4技能を評価することは大切です。納得していただける制度を検討していきます」

「大学入試改革は、24年度からスタートする。大学入試改革は、24年度からスタートする。大学入試改革は、24年度からスタートする。」

「高校は22年度から新学習指導要領での学習が始まります。プログラミングなどを学ぶ共通必修科目『情報I』が新設され、24年度入試から出題される可能性がります。次世代は答えのない課題を自ら切り開いていく力を求められます。高大接続改革に取り組み、学力の3要素をしっかりと育て、そうした能力を評価できる大学入試制度を構築していきたいと思っています」

社会で必要な力 伸ばすチャンス



河合英樹氏（河合塾副理事長）

かわい・ひでき 東京都出身。一橋大学経済学部卒業。三菱地所などを経て、2012年に河合塾入塾。グループ経営戦略部長などを歴任し、18年から現職。

「大学入学共通テストが始動する。どのように受け止めているか」

「社会の変化が加速する中で、これからはチームで成果を挙げ、いく能力が求められます。覚えてきたことを答えだけを再現する試験ではないのか」と大学入試への意識も変わってきました。入試制度は、もっと早く変わっても良かったのかな...という印象もあります」

「思考力・判断力・表現力が重要視される」

「もちろん、大学入試センター試験でも、そうした能力は問われていました。今回の改革で国語・数学に記述式が導入される予定ですが、問われる中身は本質的には変わっていないのでは。形式への

慣れは必要ですが、今までと異なるアプローチをしなければいけないというところはあります。河合塾としては、不安に思う必要はないというメッセージを発信し続けています」

「本質的な力の涵養が必要になる」

「未来の先行きが読みにくい時代には、学び続ける力が必要です。好奇心を持ち、社会変化にアンテナを立てておかないと、進みたい道が見えなくなります。思い描く未来の生活、適性や興味、力を発揮できるパターン...。自分自身を知ることも大切です。入試改革によって思考力などが注目されていますが、それは変化に適応していくための力で、今までも、これからも求められるものです」

「入試改革に対し、受験生の不安は広がり、安全志向が強くなっている」

「自分たちのときになぜ変わるのか」という思いは抱いてしま

うでしょう。しかし、現実に入試制度は変わります。社会に出たら必要な力を問われるのだから、今から伸ばすチャンスだと前向きに考えてほしい。安全志向も強いですが、安易に志望校を下げてしま

うのは残念です。大学はゴールではなく、スタート。決意と覚悟を決めて挑むことも大切です」

「自身は受験、大学生活は『受験は嫌だな、永遠に終わらないでほしい』と考えていて、大学受験は積極的な態度ではありませんでした。大学はアメリカカンファレンスに夢中で、卒業に5年かかりました。5年目に必死に勉強して、『学費は高い、楽しかったんだな』と気づいたのです。気づきがもっと早ければ、より学びが多かったのでは...と思ってい

ます」

河合塾が教育で心がけていることは

「塾ではありませんが、その瞬間だけのお手伝い終わるつもりはありません。自身と向き合う成長の場として活用してほしい。受験対策だけではなく、読む力を中心とした基礎学力や教養はしっかりと積み重ねてほしいです」

「受験生へのメッセージ」

「大学入試は歩きた道へ進む選択肢を上げる。偏差値の高低だけではなく、自分なりにその大学に行く理由を説明できるようなのでほしい。全員が第一志望を達成できるとは限りません。それは失敗や挫折と捉えられがちで、回避したいことかもしれない。しかし、日々は小さな失敗の連続。避けてはかからないと、いつか突然大きな挫折に遭遇し、立ち上がることができなくなります。重要なのは『努力した』と思える挑戦だったかどうか。その感触が、その後の生活を豊かにしてくれるのではないだろうか」

注目集まる大学入試改革

「大学入学共通テスト」が2021年1月から始まる。英語は民間試験の活用が決まっていたが、地域格差や経済格差などの問題点が浮上し、導入の見送りが決定。大学入試改革の行方に注目が集まっている。

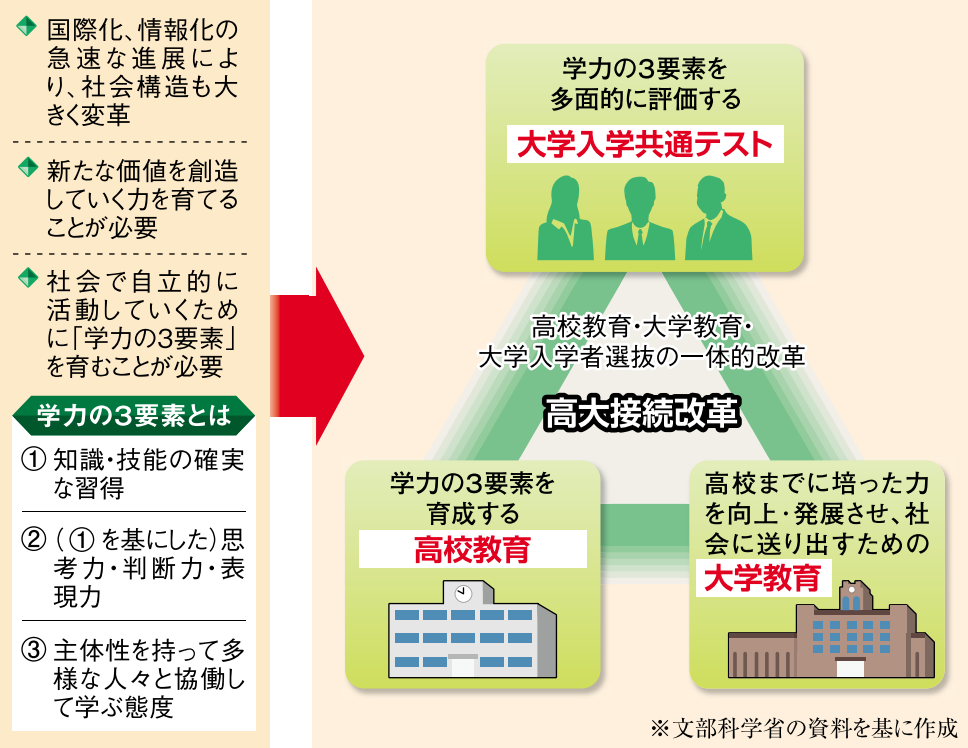
文部科学省は、次世代社会を見据え、変化に対応できる人材育成を目指し、高大接続改革に取り組んでいる。その中核が大学入試改革。大学入試センター試験に代わる形で「大学入学共通テスト」が実施される。

共通テストでは国語と数学で記述式試験を3問ずつ導入予定。24年度からは、地歴・公民や理科分野でも記述式を採用する方向で検討を進めることとされている。

英語は、4技能〈読む・聞く・話す・書く〉を総合評価するため、英検など7種類の試験を活用。得点をヨーロッパ言語共通参照枠「CEFR」が定める6ランクに分類し、大学に情報が送られる仕組みだった。

しかし、経済格差や地域格差、公平性などの問題が指摘され、萩生田光一文部科学相は11月1日、民間試験の導入は24年度以降に延期することを発表した。文科省では「今後1年をかけて、抜本的に見直していく」としている。

「高大接続改革」のポイント



※文部科学省の資料を基に作成

＜企画・編集＞産経編集センター

国際交流留学生プラザ オープン

国際交流・地域貢献・世代間交流——3つの目的をもつ集いの場

国際交流・地域貢献・世代間交流の3つの目的をもつ集いの場として建設された「国際交流留学生プラザ」は、隈研吾建築都市設計事務所より、自然豊かなキャンパスとの調和を図りながら設計が進められました。各階にパブリックアートが設置され、本プラザに集う皆様に快適に過ごしていただける空間となっています。今後このプラザが様々な活動や情報交換の場として積極的に活用されることを期待しています。



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

【入試関係】 入試課 TEL.03-5978-5151
お問合せ先 学生・奨学金関係 TEL.03-5978-2646
【その他】 企画戦略課（広報担当） TEL.03-5978-5105
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 <http://www.ocha.ac.jp>



具体的な国際教育プログラムについて伺います。
大学の国際プログラムには2

「教育・研究面におけるグローバル化が加速している。本学の建学の精神は「社会に貢献する技術者を育成」である。2027年に向けて、「アジア工科大学トップ10」を目指し、世界に貢献する理工系人材の育成の場」にしたいと考えています。そのために、グローバル化を推進する取り組み、昨年度実績で本学からの海外派遣留学生1671人、海外からの受け入れ留学生約1490人となっています。また2017年度の協定等に基づく日本人学生派遣数の多い大学ランキングでも本学は50位となるなど、グローバル化が進んでいます。さらに国際共同研究ネットワーク構築による研究強化に向けて、外国人を積極的に採用しており、308人中37人が外国人となっています。同時にダイバーシティの観点から女性教員も63人と、理工系の大学としてはかなり多いと自負しています。

資源に乏しい日本が成長を続けるためには、科学技術立国を維持していく必要があり、それに資する人材育成には、本学の役割は大きいと考えます。また、技術者として世界の課題を解決したいという若者にも、海外と積極的な交流ができる本学は魅力的な存在であり、ぜひ進学して学んでほしいと思います。

教育・研究面におけるグローバル化が加速 世界の諸課題を解決する技術者を育成



学長
村上 雅人

1984年東京大学工学系大学院博士課程修了。同年新日本製鐵(株)第一技術研究所研究員に。その後、超電導工学研究所主任研究員、同第七研究室長、名古屋大学客員教授、選手大学客員教授を経て、2003年芝浦工業大学客員教授、2006年同大学大学院工学研究科長、2008年副学長、2012年から現職。

大学総長・学長へのインタビュー

ポスト2020 日本の未来を 創る大学の挑戦

我が国の大学を絶えざる挑戦と創造の場へと再生することは、日本が再び世界の中で競争力を高め、「日本再生」の輝きを取り戻すうえでも非常に重要です。
大学力の向上こそ日本力増進の鍵と言えるのではないのでしょうか。
株式会社日本ドリコム 代表取締役社長 小林 淳一郎

PR企画制作 産経新聞社メディア営業局 企画協力 株式会社日本ドリコム

産経Square <https://www.sankeisquare.com/> dricomeye.net/77.pdf/

「学生は人財」という表現をされています。その意図は、私は「学生ファースト」の視点に立ち、学生一人ひとりが才能と個性を有する存在であるという意識をもち、一人ひとりの「人財」ではなく、「人財」の文字を使っています。大学の役割は、それが潜在的に持っている「才智」を掘り起こし、社会に貢献する有為な「人財」として育成することにあると考えています。

「教育理念である「仏教の教えと禅の精神を現代に生かす」を、これまでもお話ししたように、これまで2017年度の協定等に基づく日本人学生派遣数の多い大学ランキングでも本学は50位となるなど、グローバル化が進んでいます。さらに国際共同研究ネットワーク構築による研究強化に向けて、外国人を積極的に採用しており、308人中37人が外国人となっています。同時にダイバーシティの観点から女性教員も63人と、理工系の大学としてはかなり多いと自負しています。

資源に乏しい日本が成長を続けるためには、科学技術立国を維持していく必要があり、それに資する人材育成には、本学の役割は大きいと考えます。また、技術者として世界の課題を解決したいという若者にも、海外と積極的な交流ができる本学は魅力的な存在であり、ぜひ進学して学んでほしいと思います。

「学生ファースト」の視点に立ち 仏教の教えと禅の精神を現代に生かす



学長
長谷部 八朗

1950年生まれ。74年慶應義塾大学商学部卒業。82年駒澤大学大学院人文科学研究科社会学専攻博士後期課程満期退学。96年同大学仏教学部助教授。2002年同教授。2017年学長に就任。日本宗教学会常務理事・評議員、日本山岳修験学会副会長。

「学生は人財」という表現をされています。その意図は、私は「学生ファースト」の視点に立ち、学生一人ひとりが才能と個性を有する存在であるという意識をもち、一人ひとりの「人財」ではなく、「人財」の文字を使っています。大学の役割は、それが潜在的に持っている「才智」を掘り起こし、社会に貢献する有為な「人財」として育成することにあると考えています。

「教育理念である「仏教の教えと禅の精神を現代に生かす」を、これまでもお話ししたように、これまで2017年度の協定等に基づく日本人学生派遣数の多い大学ランキングでも本学は50位となるなど、グローバル化が進んでいます。さらに国際共同研究ネットワーク構築による研究強化に向けて、外国人を積極的に採用しており、308人中37人が外国人となっています。同時にダイバーシティの観点から女性教員も63人と、理工系の大学としてはかなり多いと自負しています。

資源に乏しい日本が成長を続けるためには、科学技術立国を維持していく必要があり、それに資する人材育成には、本学の役割は大きいと考えます。また、技術者として世界の課題を解決したいという若者にも、海外と積極的な交流ができる本学は魅力的な存在であり、ぜひ進学して学んでほしいと思います。

国際通用性と創造性を備えた「基盤力」溢れる人材育成に取り組む



学長
窪道 佳明

1962年生まれ。1985年慶應義塾大学理工学部機械工科学科。1994年同大学大学院理工学研究科機械工学専攻博士課程満期退学。2004年上智大学理工学部教授。2011年学務担当副学長。2014年グローバル推進担当副学長。2015年国際協力人材育成センター長を経て、2017年上智大学学長に就任。

「学生は人財」という表現をされています。その意図は、私は「学生ファースト」の視点に立ち、学生一人ひとりが才能と個性を有する存在であるという意識をもち、一人ひとりの「人財」ではなく、「人財」の文字を使っています。大学の役割は、それが潜在的に持っている「才智」を掘り起こし、社会に貢献する有為な「人財」として育成することにあると考えています。

「教育理念である「仏教の教えと禅の精神を現代に生かす」を、これまでもお話ししたように、これまで2017年度の協定等に基づく日本人学生派遣数の多い大学ランキングでも本学は50位となるなど、グローバル化が進んでいます。さらに国際共同研究ネットワーク構築による研究強化に向けて、外国人を積極的に採用しており、308人中37人が外国人となっています。同時にダイバーシティの観点から女性教員も63人と、理工系の大学としてはかなり多いと自負しています。

資源に乏しい日本が成長を続けるためには、科学技術立国を維持していく必要があり、それに資する人材育成には、本学の役割は大きいと考えます。また、技術者として世界の課題を解決したいという若者にも、海外と積極的な交流ができる本学は魅力的な存在であり、ぜひ進学して学んでほしいと思います。

駿大ならではの愛情教育で 地域社会で輝く人材を育成



学長
大森 一宏

早稲田大学政治経済学部卒業。同大学理工学部機械工科学科。1994年同大学大学院理工学研究科機械工学専攻博士課程満期退学。2004年上智大学理工学部教授。2011年学務担当副学長。2014年グローバル推進担当副学長。2015年国際協力人材育成センター長を経て、2017年上智大学学長に就任。

駿河台大学スポーツ科学部 2020年4月開設！

スポーツ科学部 スポーツ健康モデル／スポーツ教育モデル／地域スポーツモデル



スポーツ科学の学びを通じて、健康で文化的な生きがいのある生活を送ることができる社会を構築することに貢献するスポーツ人を養成します。

(学 部) 法学部 / 経済経営学部 / メディア情報学部 / スポーツ科学部【2020年4月開設】 / 心理学部
(学 院) 総合政策研究科 / 心理学研究科



入試広報部 〒357-8555 埼玉県飯能市阿須 698
TEL 042-972-1124 <https://www.surugadai.ac.jp/>

「学生は人財」という表現をされています。その意図は、私は「学生ファースト」の視点に立ち、学生一人ひとりが才能と個性を有する存在であるという意識をもち、一人ひとりの「人財」ではなく、「人財」の文字を使っています。大学の役割は、それが潜在的に持っている「才智」を掘り起こし、社会に貢献する有為な「人財」として育成することにあると考えています。

「教育理念である「仏教の教えと禅の精神を現代に生かす」を、これまでもお話ししたように、これまで2017年度の協定等に基づく日本人学生派遣数の多い大学ランキングでも本学は50位となるなど、グローバル化が進んでいます。さらに国際共同研究ネットワーク構築による研究強化に向けて、外国人を積極的に採用しており、308人中37人が外国人となっています。同時にダイバーシティの観点から女性教員も63人と、理工系の大学としてはかなり多いと自負しています。

資源に乏しい日本が成長を続けるためには、科学技術立国を維持していく必要があり、それに資する人材育成には、本学の役割は大きいと考えます。また、技術者として世界の課題を解決したいという若者にも、海外と積極的な交流ができる本学は魅力的な存在であり、ぜひ進学して学んでほしいと思います。

資源に乏しい日本が成長を続けるためには、科学技術立国を維持していく必要があり、それに資する人材育成には、本学の役割は大きいと考えます。また、技術者として世界の課題を解決したいという若者にも、海外と積極的な交流ができる本学は魅力的な存在であり、ぜひ進学して学んでほしいと思います。

新学部・新キャンパスの開設を軸に 人間の諸課題を解決しうる人材を育成



学長
兼子 良夫

大阪大学博士(経済学)。2013年経済学部長兼第二経済学部長。2016年4月より現職。文部科学省大学設置・学校法人審議会大学政策分科会特別委員、公益財団法人大学政策推進協議会理事、日本サランカ大学会の常務理事、神奈川県日中友好協会副会長、山形県総合政策審議会会長なども務める。山形県出身。64歳。

「学生は人財」という表現をされています。その意図は、私は「学生ファースト」の視点に立ち、学生一人ひとりが才能と個性を有する存在であるという意識をもち、一人ひとりの「人財」ではなく、「人財」の文字を使っています。大学の役割は、それが潜在的に持っている「才智」を掘り起こし、社会に貢献する有為な「人財」として育成することにあると考えています。

「教育理念である「仏教の教えと禅の精神を現代に生かす」を、これまでもお話ししたように、これまで2017年度の協定等に基づく日本人学生派遣数の多い大学ランキングでも本学は50位となるなど、グローバル化が進んでいます。さらに国際共同研究ネットワーク構築による研究強化に向けて、外国人を積極的に採用しており、308人中37人が外国人となっています。同時にダイバーシティの観点から女性教員も63人と、理工系の大学としてはかなり多いと自負しています。

資源に乏しい日本が成長を続けるためには、科学技術立国を維持していく必要があり、それに資する人材育成には、本学の役割は大きいと考えます。また、技術者として世界の課題を解決したいという若者にも、海外と積極的な交流ができる本学は魅力的な存在であり、ぜひ進学して学んでほしいと思います。

津田梅子のフロンティア精神を受け継ぎ 変革を担う女性リーダーを育成



学長
高橋 裕子

1980年津田塾大学文学部英文学専攻卒業。ロータリー財団奨励員としてカンザス大学で学ぶ。1984年筑波大学大学院修士課程(国際学修士)。1989年カンザス大学大学院(Ph.D.)。桜林大学専任講師・助教授を経て、1997年津田塾大学文学部英文学専攻助教授。2004年教授に就任。広報・学生担当、学務担当学長補佐、研究支援担当学長特別補佐などを務め、2016年より現職。

時代の求める課題解決能力を 実践的な学びで身につける 総合政策学部



学芸学部: 英語英文学 / 国際関係学 / 多文化・国際協力学 / 数学科 / 情報科学 総合政策学部: 総合政策学
企画広報課 〒187-8577 東京都小平市津田町2-1-1 TEL. 042-342-5113
E-mail: kouhou@tsuda.ac.jp URL: <https://www.tsuda.ac.jp/>

MESSAGE

学長
佐々木 重人

1955年生まれ。1978年専修大学商学部会計学科卒業。1983年同大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士（経営学）。1983年同大学商学部助手。同助教を経て、1995年同教授。2013年商学部長。2016年より現職。専門は会計史。著書に「近代イギリス鉄道会計史—ロンドン—ノースウエスタン鉄道会社を中心に—」など。

「社会知性の開発」を通して日本の未来を開く

教育理念として「社会知性の開発」を掲げています。

「社会知性の開発」とは、「大学で学ぶ知識や技能を自分のためだけでなく、家族や企業、地域そして世界に役立てるもの」として実践すること意味します。現代社会には、喫緊に取り組まなければならない課題が山積しています。これらの解決には、地球的視野から諸問題を把握する力、独創的発想力、さらには深い人間理解や倫理観が求められます。こうした新時代の社会が求める知性こそ、「社会知性」であり、学生一人ひとりが自己実現に生かせる知であると同時に、「専修大学が創り育てる知」でもあります。

創立140周年に向け、多彩な課題に取り組まれています。

2020年に迎える創立140周年には、神田キャンパスに

国際コミュニケーション学部が誕生します。グローバル社会で活躍できる日本語のエキスパートを育成する日本語学科と、複数の外国語と世界の文化を学ぶ異文化コミュニケーション学科からなり、真のグローバル人材の育成をめざします。さらに、生田キャンパスにある経済学部

の学科を再編し、現代経済学科と生活環境経済学科を新設します。既存の国際経済学科との3学科体制で、経済学の知見をより良い社会の実現のために役立てられる経済人の輩出をめざします。また2019年には、経営学部にはビジネスデザイン学科、文学部にジャーナリズム学科を開設するなど、社会が求める人材の育成を進めています。

新校舎建設も進めていると聞きました。

2020年の春には、神田キャンパスに16階建ての高層新校舎が誕生します。留学生などグローバルワーカーがでるグローバルフロアや多目的ホールなども配置。新設する国際コミュニケーション学部と既存の法学部、経済学部と既存の芸術学部に加え、商学部が生田キャンパスから移転されます。学生の利便性が高まると同時に、3学部間のシナジー効果も期待できます。本学は、学生の目線に合わせて、体系的かつ効率的な「学びの力」により強化し、教育の質の保証に取り組んでいます。質の保証に取り組んでいます。本学を志望する人には、自分が熱中できるものを探して一心不乱に努力し、そこから果立つ心不乱に努力し、そこから果立

広報室 〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14 Tel 03-3947-7160 <http://www.takushoku-u.ac.jp>
 (学部) 法学部、政経学部、外国語学部、国際学部、工学部
 (大学院) 経済学研究科、商学研究科、工学研究科、言語教育研究科、国際協力研究科、地方政治行政研究科

TOP MESSAGE

総長
森本 敏

東京都出身。防衛大学校卒。防衛庁・外務省、野村総合研究所所長、防衛研究所、防衛大臣政策参事、第11代防衛大臣、防衛大臣政策参事、本学教授、海外事情研究所所長を歴任。桂太郎塾長。

建学の精神に基づいた「桂太郎塾」で次代の日本を担うリーダーを育成

リーダーシップ教育を行わ
れていると聞きました。

本学の創設者である桂太郎公
爵は、「松下村塾」を開いた。吉
田松陰を敬慕していました。そ
んな桂公爵の志を継ぐべく、現
代版「松下村塾」として、平成
21年から「桂太郎塾」を開塾し
ています。本塾は、建学の精神
に基づき、オピニオンリーダー
になろうる人材を養成し、国家
の発展と繁栄、世界の平和と安
寧に資することを目ざしたとし
て、志ある学部生を選抜し、
通常授業のほかに特別教育を行
うプログラムです。

具体的なカリキュラムにつ
いて教えてください。

研修期間は約1年間で、主と
して土曜日に講義とゼミナール
を行い、さらに、合宿研修や各
種施設見学なども実施していま
す。ゼミナールでは、社会に出
て必要とされる情報収集力・発
信力を鍛えることを目的に論文
発表、集団討論、ディベートを
重視しています。課外研修では
桂太郎旧宅や松下村塾を訪ねる
毎年恒例の合宿のほか、海外
合宿研修として台湾や韓国を訪
問し、現地の大学と討論会を行
うなど時流に合わせた柔軟な

カリキュラムが組まれている
す。

塾生たちに求められる資質
は何でしょうか。

「桂太郎塾」は特別授業であ
ると同時に「人間形成の場」で
もあると考えています。したが
って、礼儀や規律、社会規範意
識の向上のために、塾生たちの
日常生活については目頭から厳
しく指導しています。どんな困
難にも耐えうる強靱な精神力を
鍛えることによって、自分らし
さが磨かれ、価値ある生き方が
享受でき、いいことを塾生た
ちには伝えています。

今、グローバル化が急速に進
展する中で、次代の日本を担う
リーダーには、「人種の色と地
の境、我が立つ前に差別なし」と
本学の校歌にも謳われていると
おり、自国を愛し、他国を敬う態
度を養うことが求められています。
本塾は、偏狭で排他的なナショ
ナリズムやイデオロギーを捨て
て、自己主張のみに陥ることな
く、相手を受け入れようとする
柔軟性・協調性、パランス感覚を
持ったリーダーを育成すること
で、新しい時代の要請に応える
社会変革の原動力となることを
目指していきたいと思います。

	玉川大学	教育情報 企画部広報課 〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1 Tel 042-739-8710 https://www.tamagawajp.ac.jp			
		(学部) 文学部、農学部、工学部、経営学部、教育学部、芸術学部、バリエーション学部、観光学部	(大学院) 文学研究科、農学研究科、工学研究科、マネジメント研究科、教育学研究科、脳科学研究科	(専門大学院) 教職大学院	

TOP MESSAGE



**学長
小原 芳明**

現在、日本私立大学協会常務理事。
「ハーバード大学の戦略」授業の評価
「教育の挑戦」など著書・訳書多数。

科学技術と芸術・語学を融合した 「ESTEEM教育」で、革新的な発想力を育む

貴大学が推進する「ESTEEM教育」とは。

社会が抱える課題が複雑・多様化し、これまでのように個々の学問分野が独立して教育・研究を進めるだけでは、もはや解決が難しくなっています。必要における教育・研究活動で大事なのは、異なる分野の学問を融合した学際的なアプローチです。欧米では10年前から、イノベーションを生み出す人材を養成すべく、科学、技術、「STEM教育」を統合的に教える「STEAM教育」が提唱され、近年は芸術(Art)を加えた「STEAM教育」に力を入れています。本学ではこの「ELF(国際共通語としての英語)」を融合させ、独自の「ESTEEM教育」を展開しています。これにより今までにない学部横断型の教育・研究を実現し、革新的な発想力で新たな価値を創造できる人材を養成したいのです。

新たな学修施設も建設中ですね。

2020年4月に利用を開始するのが、ESTEAM教育の拠点となる「STEAM Hall 2019」です。農工芸術学部が学ぶ施設で、学生や教員が学

部を超えて互いの教育・研究に触れ、自由にアイデアを共有できるよう、メーカーズルームを多く設けています。2021年には、実験室と工房を配した「Constance Hall 2020」も利用開始予定です。施設完成に先駆け、本年4月から、工農芸融合価値創出プロジェクト授業がスタートしました。これは3年度の学生がグループを組んで一緒に課題解決に取り組むもの。専門以外の分野に触れるからこそ刺激を受け、自身の発想力を高められる確信しています。

先端技術を駆使した科学研究にも注ぎられています。

L.E.D農園での野菜生産の事業化が軌道乗り、より付加価値の高い野菜の栽培研究を開始しました。例えば、カリウムの摂取を制限されている患者の方々に安心して食べられる新鮮な低カリウム野菜を提供し、医療分野における食生活の質向上を図っていく。研究を進める上でも異分野との連携が不可欠です。得られた成果をもていかに社会に貢献できるかを常に考え、学部横断型教育・研究を積極的に推進していきます。

*1 STEM : Science, Technology, Engineering, Mathematics
 *2 ELF : English as a Lingua Franca



東京工科大学

広報課 〒192-0982 東京都文京区王子市食町1404-1 | <https://www.tu.ac.jp/>
【学部】
[\[1\]王子キャンパス](#) | [工学部](#) (機械工学科, 電気電子工学科, 応用化学科) / [コンピュータサイエンス学部](#) (人工知能専攻* / 先進情報専攻*) / [メディア学部](#) (応用生物工学部 (生命科学専攻 / 医薬品専攻) / 食品・化粧品専攻) / [薬療保健学部](#) (看護学科, 理学療法学科, 作業療法学科, 臨床工学科, 臨床検査学科)
【大学院】
[\[1\]王子キャンパス](#) | [工学研究科](#) (バイオ・情報・メディア研究科) | [薬田キャンパス](#) | [デザイン研究科](#)

※2020年4月新設

実学主義教育の実践を徹底し 基礎力と応用力を備えた人材を育成



学長
輕部 征夫

1942年生まれ。東京工業大学大学院理工学研究科化学工学専攻博士課程修了。東京工業大学教授、東京大学先端科学技術研究センター教授、東京大学国際産学共同研究センター長、東京大学大学院バイオイクス学部長、副学長を歴任。2008年から現職。2010年には日本人として初めて英国王立生物学会名誉フェローを受賞。

「実学主義に基づくオンラインワンの教育とは何ですか。」

本学は理工系+αの学びを網羅する理工系総合大学として、社会の課題を解決する、あるいは生活豊かにするための技術を探索しています。そのなかでも「戦略的教育プログラム」は、実学主義教育の推進、教育力の強化、社会の要請に基づいた教育に重点を置いています。現在は、ロボコン出場や再生エネルギー利用電気自動車開発などの実践的教育。あるいはIoT・モノのインターネットの基礎的知識や中核的スキルの修得を目的とした実践的な開発体験など、幅広いテーマで展開しています。

実学主義教育でどのような人材の育成をされていますか。

専門的な知識や技術だけでなく、変化していく社会に柔軟に対応している適応力の養成を重視しています。そのためには基礎的な力、特に情報技術を自在に使いこなす力が不可欠であり、情報リテラシー系科目を全学部必修とし、データサイエンス系科目の必修も進めています。社会がどのように変化しても、あらゆる分野において技術

者、あるいはネットワークエンジニア（AI）を扱える人材として活躍する、基礎力と応用力を兼ね備えた人材を育成します。

産官学共同での最先端の研究も行われていますね。

大学の役割を考えると、研究面の充実が欠かせませんが、多くの教員がめざましい成果を挙げています。一例として航空機材料や、循環型の生物資源を用いた新規グリーンプラスチックの開発が進んで、これらは企業だけでなく、国の機関による支援のもとで進行する一大プロジェクトとなっており、学生たちに「技術で社会を豊かにする」という姿勢を示しています。

給付型の奨学金を支給する奨学生入試の反響は。

合格者（全部合計1033名）に年額130万円の奨学金返還不要を最長4年間支給する制度で、奨学生合格者に加えて、一般人試験合格者も発表しました。次の入試で3名の実施となりましたが多くの受験生に認知され、学びたいという意欲あふれる優秀な学生を集めることができています。



アメリカ直輸入の 英語教育組織&プログラムで 「品格ある英語」を身に付ける

独自の英語教育組織 GTI (Global Teaching Institute) を設置。学生の指導にあたるのは、英語教授法の修士学位を取得した約 50 名の専任ネイティブ教員です。100 % English Only、レベル別少人数制の授業で実践的なコミュニケーション力を育てます。



東京国際大学

TOKYO INTERNATIONAL UNIVERSITY

■ 募集人員

学部	学科	定員	取得可能な資格
リハビリテーション学部 (4年制)	理学療法学科	80	理学療法士 (国家試験受験資格)
	作業療法学科	80	作業療法士 (国家試験受験資格)

■ 入学試験日程

入試区分	入学試験日	出願期間
一般入試 (併願制)	前期 2020年 2月 2日(日)	2020年 1月 6日(月) 2020年 1月24日(金)
	中期 2020年 2月23日(日)	2020年 2月 3日(月) 2020年 2月17日(月)
	後期 2020年 3月 8日(日)	2020年 2月14日(金) 2020年 2月28日(金)
AO入試 (専願制)	2期 2020年 1月22日(水)	2020年 1月 6日(月) 2020年 1月15日(水)
	3期 2020年 2月23日(日)	2020年 2月 3日(月) 2020年 2月17日(月)
	4期 2020年 3月 8日(日)	2020年 2月14日(金) 2020年 2月28日(金)

2020年4月に東京保健医療専門職大学が、東京都江東区に開学します。
既存の大学や専門学校では展開されなかった「経営系科目」や、専門分野の周辺(隣接他分野)を学ぶことで、保健・医療分野において新しい価値観を創造できる「実務リーダー」を育成します。

2020年4月
開学決定

東京・江東区に
都市型キャンパスが
誕生します。

東京メトロ「東陽町駅」②番出口から徒歩10分

教養×高い専門性で次代を創造する

東京保健医療専門職大学

TOKYO PROFESSIONAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

〒135-0043 東京都江東区塩浜2-22-10 TEL: 03-6272-5671 FAX: 03-6272-5672

www.tpu.ac.jp

ホームページにて最新情報を随時更新中



東洋大学

東京都文京区白山5-28-20

東洋大学京北中学高等学校

東京都文京区白山2-36-5

東洋大学附属牛久中学校・高等学校

茨城県牛久市柏田町1360-2

東洋大学附属姫路中学校・高等学校

兵庫県姫路市書写1699

京北幼稚園

東京都文京区本駒込2-13-5